



HMS-500LS/IPCAM みまもりIPカメラサーバセット設定ガイド

Rev 1.0.1

はじめに

HMS-500LS/IPCAMセットは従来のIPカメラ機能に加え、サーバー機能を持つHMS-500LSに“画像要求メール”を送信すると“その瞬間”の映像が添付されたメールが返信される機能を備えています。また、弊社HMS-350Wシリーズと連動させる事で、各種センサーが動作した瞬間の映像を送信させる事も可能です。HMS-500LSは1台につき最大で5台のIPカメラを認識する事が出来、HMS-350Wの各種センサー（最大5台）と様々な連携を行う機能を有しています。

HMS-500LS/IPCAMセット内容

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| • HMS-500LS（以降：ホームサーバ） | • HMS-510IPCAM（IPカメラ） |
| • USBメモリ（起動・設定ファイル） | • 簡単設定ガイド |
| • 設定ガイド（本誌） | • LANケーブル |
| • ACアダプタ×2 | • IPカメラ設置台 |
| (HMS-500LS及びHMS-510IPCAM用) | |

困ったときは？・サポートページ<<http://www.qool-tech.co.jp/support/>>

※Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

設置～画像確認までの流れ

ステップ1：事前設定（設定ファイルの編集）

ステップ2：機器の設置・接続

ステップ3：動作確認

ステップ4：各種設定・運用方法

ステップ5：HMS-500LS仕様

<保証とアフターサービス>

<無料修理規定>

ステップ1：事前設定（設定ファイルの編集）

起動前の確認・準備

ホームサーバは起動前に設定を行う必要があります。まずは付属のUSBメモリをお持ちのパソコンに挿入し、内部の“config”フォルダ内にあるファイルを確認して下さい。

- Server.dat
メール送受信時に使用するメールサーバーの設定ファイル（編集不要）
- CameraDetail.txt
IPカメラで定期的に取得する画像の間隔（秒）設定用ファイル・初期値は30秒に設定
- CameraNo.txt
ホームサーバにIPカメラを追加時（最大5台）に使用、同梱されているIPカメラは製品出荷時に登録済み
- CameraSensorConnect.txt
ホームサーバに登録したIPカメラとHMS-350Wに関連付けられた各種センサー類の連動設定時に使用（STEP4で解説）
- Address.txt
ホームサーバからの通知、取得画像データの送受信に使用するメールアドレスの設定に使用（最大5つ登録可能・最低1つ登録必須）

dat.txt等の拡張子は御使用のパソコンの設定次第で表示されていない可能性があります、特に問題はございません。

※重要※

上記5つのファイルは編集前にパソコンや他のUSBメモリに保存して下さい。ファイルが壊れたり、データを誤って編集し上書きしてしまった場合等に、編集前に保存したファイルを、USBメモリに上書き後ホームサーバに挿入、再起動で製品出荷時の状態に戻す事が可能です。

手順1

上記5つのファイルの内Address.txtをダブルクリックして開いて下さい（テキストデータ編集プログラムは御使用の環境により異なります）

Address.txtファイルを開くと、下記の様に1～5までの番号が“,”で区切られています

1,
2,
3,
4,
5,

ホームサーバから通知を受けたいメールアドレスを最大5つまで登録する事が可能です。ここでは“最低一つのメールアドレスを必ず設定”して下さい。

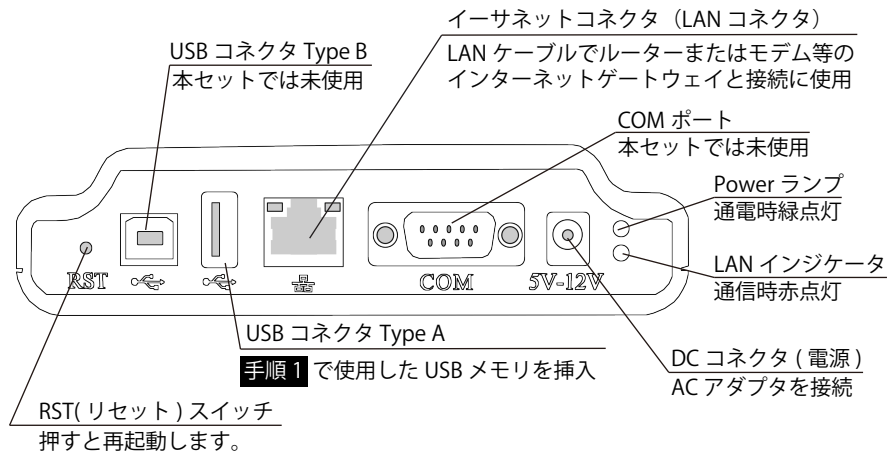
書式は「番号,メールアドレス」という形になります（メールアドレスを二つ設定する場合）

例：1,sample1@qool-tech.co.jp
2,sample2@qool-tech.co.jp
3,
4,
5,

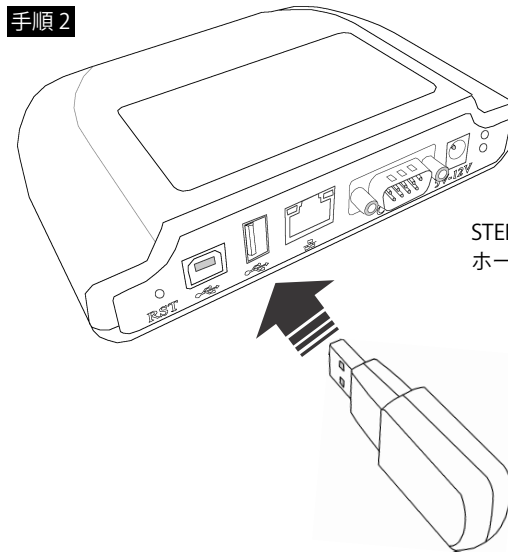
Address.txtに通知用のメールアドレスを設定後、設定内容（変更内容）を保存したUSBメモリをホームサーバに挿入し、電源を入れて下さい。

ステップ2：機器の設置・接続

設置・接続イメージ

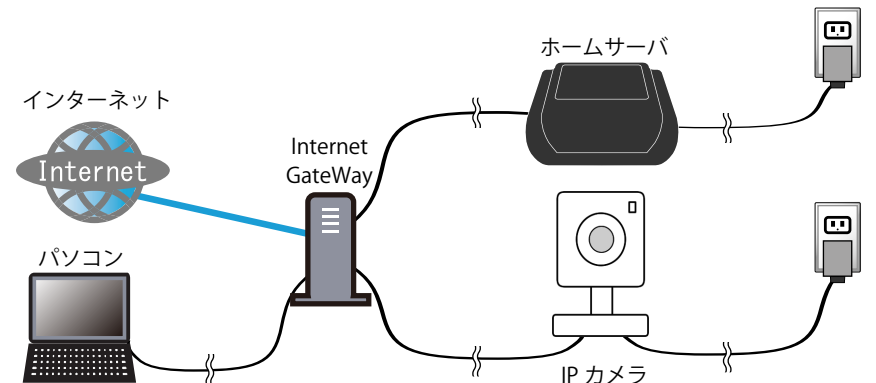


手順2



手順3

USBメモリを挿したホームサーバのイーサネットコネクタにLANケーブルを接続し下記イメージと同様に設置した後、ホームサーバの電源を投入（ACアダプタを接続）します。



ホームサーバは電源投入後、メールアドレスの設定に問題が無ければ2分弱で“HMS-500シリーズの電源が入りました。”というメールを送信します。更にホームサーバはネットワークの環境を確認（約20分）してから“HMS-500シリーズの接続機器確認が完了しました。”という内容のメールを送信してきます。以上で準備は完了です。

（購入直後の初回起動及びUSBメモリ内のファイルを編集後の再起動は環境にも寄りますが“接続機器確認完了”メールが送信されてくるまで約20分前後の時間を必要とします）

ステップ3：動作確認

ホームサーバへ画像要求メールを送信

ホームサーバ底面（裏側）にあるメールアドレスにSTEP1手順1でAddress.txtに登録したメールアドレスから以下の条件を満たしたメールを送信するとIPカメラの画像が添付されたメールが返信されます。（画像要求メールを送信したアドレスにのみ画像が返信されます）

メールの件名に**アルファベット大文字**で下記の単語を入力します

PCT

本文に画像を要求するカメラ番号を半角数字で入力し“,”（カンマ）で区切ります

1,

本セットではIPカメラは1台なので下記の様に入力します。

件名：PCT

本文：1,

入力後メールを送信して下さい。

送信後はネットワークの状況やカメラの設置台数（最大5台）等に左右されますが、カメラ1台あたり10秒前後でメールが返信されます（※件名、本文はテキスト入力形式必須）

例：ホームサーバにカメラが2台登録してあり2台全てのIPカメラの画像を要求する場合、下記の様に本文を入力します。
1,2,

※カメラを3台以上登録している場合は上記の例に加え“,”（カンマ）で区切りながら数値を追加した内容のメールを送信します。

画像の添付されたメールは返信されてきましたか？“要求されたカメラからの反応がありませんでした。”といった内容のメールが返信され、画像が添付されて無かった場合、IPカメラの設定を確認し、本誌STEP1からの手順をもう一度実行して下さい。

※フリーメールの一部は画像要求メールに使用出来ない事があります、ご契約されているプロバイダ等、信頼性の高いメールアドレスでのご利用をお勧めいたします。

ステップ4

：各種設定・運用方法

【IPカメラの増設】

ホームサーバ(HMS-500LS)には最大5台までIPカメラを登録する事が可能です。新たに登録するIPカメラ(HMS-510IPCAM)の裏に貼ってあるシールに記載されているMACアドレスを”CameraNo.txt”に下記の書式に従い、半角英数字で追加入力して下さい。

書式例

カメラ番号，MACアドレス

②0A:1B:2C:3D:4E:5F

合計12個の英数字を「:」(コロン)で区切る

「カンマ」カメラ番号とMACアドレスを区切る箇所に必要

1～5までの数値を設定可能、すでに1台登録済みの為ここでは”2”に設定

テキスト編集ソフトで追記した場合、下記の様になっているはずです

1,6A:7B:8C:9D:0E:1F

2,0A:1B:2C:3D:4E:5F

登録するカメラの番号とMACアドレスの追記が完了後、USBメモリのCameraNo.txtに上書きして保存して下さい。次に、追加するIPカメラ(HMS-510IPCAM)をSTEP2手順3を参考にゲートウェイにLANで接続し、USBメモリを挿入したホームサーバの再起動を行います。

ホームサーバ再起動後20分前後で”HMS-500シリーズの接続機器確認が完了しました。”というメールが送信されてきます。

”接続完了”メール受信後、設定が問題なく行われたか確認する為”STEP3・動作確認”の「例」を参考にホームサーバに対して2台のカメラの画像要求メールを送信して下さい、画像が添付されたメールの返信があればIPカメラの追加登録設定は成功です。

【画像の連続撮影・保存機能】

HMS-500LS/IPCAMセットにはメールを送信して画像を取得するだけでなく、設定した周期で画像を自動撮影して保存する機能があります。保存のタイミングは”CameraDataill.txt”に設定された数値間隔(秒)で決定します。(デフォルトは30秒に設定)必要に応じて数値を変更して下さい。

※設定・使用時の注意点※

・数値間隔の最低値は5秒です、それ以下に設定しても5秒で動作します。また、最大値は32,767秒です。

・画像は日付ごとにフォルダで管理され、USBメモリの空き容量が足りなくなった時点で古い日付のフォルダから削除されます。

【HMS-350W各種センサーとの連動】

本セットは弊社HMS-350Wシリーズの各種センサーと連動して自動でIPカメラが画像を取得し、STEP1手順1で登録したメールアドレスに送信する機能を備えています。

USBメモリに保存されている”CameraSensorConnect.txt”を編集ソフトで開き、下記の書式に従い、HMS-350WのMACアドレス(ユニット背面に記載)、センサー番号、カメラ番号の順に”,”(カンマ)で区切り入力して下さい。

書式例

「カンマ」MACアドレスとセンサー番号そしてカメラ番号を区切る箇所に必要

MACアドレス，センサー番号，カメラ番号

9B:0C:1D:2E:3F:4A①①①①

HMS-H300RF2ユニットとセンサーが関連付けられた番号(画像※1参考)

CameraNo.txtに登録されているカメラからセンサーに連動させたい番号を設定

HMS-350WのMACアドレス、本体背面に記載12個の英数字を「:」(コロン)で区切る

※画像1

電源

12345

設定/パワー停止

テキスト編集ソフトで追記した場合、下記の様になっているはずです

9B:0C:1D:2E:3F:4A,1,1

編集後、上書きした”CameraSensorConnect.txt”をUSBメモリに戻し、ホームサーバを再起動して下さい。20分前後で”HMS-500シリーズの接続機器確認が完了しました。”というメールが送信されてきます。

センサーを動作させると”センサーが動作しました”という内容のメールと共に、上記で関連付けたカメラの画像が添付されてくれば、センサーとIPカメラの連動設定は完了です。

HMS-350Wの各種センサーとIPカメラは複数台使用時に様々な連動設定が可能です。

例1:カメラとセンサー各2台。各センサーにIPカメラを1台ずつ連動する設定

入力例

9B:0C:1D:2E:3F:4A,1,1

9B:0C:1D:2E:3F:4A,2,2

この設定の場合センサー1が動作した場合、カメラ番号1の画像が、センサー2が動作した場合、カメラ番号2の画像が送信されて来ます、複数の箇所を個別確認する際に便利です。

例2:カメラとセンサー各2台。センサー1にIPカメラを2台関連付け、センサー2には連動させない設定

入力例

9B:0C:1D:2E:3F:4A,1,1

9B:0C:1D:2E:3F:4A,1,2

この設定の場合センサー1が動作した場合、カメラ番号1及び2の画像が一斉に送信され、センサー2が動作した場合、センサー動作通知メールのみで画像は送信されません。

例3:カメラとセンサー各2台。センサー1及び2にIPカメラ1を関連付け、カメラ2には連動させない設定(カメラ2は画像要求メールのみで画像を取得する)

入力例

9B:0C:1D:2E:3F:4A,1,1

9B:0C:1D:2E:3F:4A,2,1

この設定の場合センサー1が動作した場合、IPカメラ1画像が送信され、センサー2が動作した場合も同様に、IPカメラ1の画像が送信されます。

ステップ5

：HMS-500LS仕様

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 機種名 | HMS-500LS ホームサーバ |
| CPU | ARM9 (250Mhz) |
| メモリ | 64MB DDR-RAM |
| 内蔵記憶領域 | 256MB SLC XNAND Drive |
| USB2.0外部端子 | TypeA × 1 / TypeB × 1 |
| LAN | 10/100BASE × 1 |
| 外形寸法 | 奥行き109mm(突起部含む)×横幅139mm×高さ39mm(突起部含む) |
| 動作温度 | -20℃～70℃ |
| 入力電圧 | DC5V |
| 消費電力 | 3W以下 |

※ホームサーバ運用上の注意※

・ホームサーバ運用中”接続確認完了”メールが来ない等の場合は、いったんホームサーバの電源をOFFにしてから再度、電源をONにして再起動してみてください。

・付属以外のUSBメモリをご使用になる際は、付属USBメモリ内の”config”フォルダをご使用されるUSBメモリにコピーして下さい。(使用可能なUSBメモリのフォーマット形式はFAT32のみです)

・起動、動作確認後はUSBメモリを抜いても動作に問題はありませんが”STEP4画像の連続撮影 保存機能”は利用出来なくなります。

・送信・保存される画像の画質はIPカメラの設定、環境に依存します。IPカメラのマニュアルに従い、必要に応じて画質を調整して下さい。

保証とアフターサービス

保証書について

本書は保証書を兼ねています。保証書は、お買い上げの際に販売会社が「お買上げ日・販売会社名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はお買上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売会社または当社サービス部門にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

まず「困ったときの対処法」を調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売会社または当社サービス部門にご連絡ください。

なお、本製品の故障もしくは不具合により発生した付随的損害の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

無料修理規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料／梱包料などをご負担ください。

修理の際ご連絡いただきたい内容

お買上げ日：

販売会社名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

無料修理規定

1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、当社サービス部門が無料修理いたします。

2.保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、当社サービス部門またはお買い上げの販売会社に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に当社サービス部門にお問い合わせください。

3.ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売会社に修理をご依頼になれない場合は、当社サービス部門にご連絡ください。

4.次の場合には保証期間内でも有料修理となります。

(1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷

(2)お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷

(3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷

(4)接続している他の機器に起因する故障および損傷

(5)業務用等、苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6)本書の提示がない場合

(7)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売会社名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

5.本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

6.本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

| 保証書 | | |
|-----------------|----|----|
| 型名 | | |
| HMS-500LS/IPCAM | | |
| 保証期間 | 本体 | 1年 |

| お買上げ日 | 年 月 日 | 販 売 会 社 |
|-------|--------|------------|
| お客様 | お名前 | 所在地・名称 (印) |
| | ご住所 | |
| | 電話 () | 電話 () |

株式会社クールテクノロジーズ

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-3-5 五反田中央ビル8F
Tel：0120-978-949 Mail：qool-support@qool-tech.co.jp

2 ページ